

関係各位

レンゴー株式会社  
広報部

**業界横断 12 社による使用済みプラスチック容器の  
店頭回収実証実験を開始  
「イトーヨーカドー 横浜別所店」にて食品用容器を回収**


レンゴー株式会社は、「イトーヨーカドー横浜別所店」（横浜市南区）において、2023 年 9 月 8 日（金）から 12 月 6 日（水）の期間に、使用済みプラスチック容器の回収実証実験を実施します。

本取組みは、株式会社アールプラスジャパン（本社：東京都港区、代表取締役社長：横井 恒彦、以下アールプラスジャパン）に資本参加している 12 社による業界横断の取組みです。

アールプラスジャパンは、“「すてる」をなくす、「みらい」をつくる。”というパーパスのもと、多様な価値を持つ企業が業界を超えて参画し、自ら知恵を出し合って、あらゆる使用済みプラスチックの再生を目指し、環境負荷の少ない効率的な再資源化技術の開発と、その実用化に取り組んでいる 40 社による共同出資会社です。

今回の回収実証実験では、2022 年 11 月に千葉県東金市で 1 か月間実施した回収実証実験の結果を踏まえ、回収対象として新たに納豆容器・弁当容器を加え、期間を約 3 か月に延長して行い、アールプラスジャパンが開発中のリサイクル技術への適用を検討いたします。

【実証実験の概要】

期間	2023 年 9 月 8 日（金）～12 月 6 日（水）
場所	イトーヨーカドー 横浜別所店 〒232-0064 横浜市南区別所 1-14-1
回収対象	 プラマークがついている以下の食品容器 ・菓子・シリアル袋（ポテトチップスなど） ・食用油・調味料（ドレッシング、マヨネーズなど）のボトル、チューブ ・納豆・弁当容器（本体・フタ） ※メーカーは問いません
回収方法	<菓子・シリアル袋 / 納豆・弁当容器> 水ですすいで乾燥させたものを回収ボックスに投入 <食用油のボトル> 古新聞などの上に一晚程度逆さにして置き、油を出し切った後、ボトルをつぶしてキャップを閉めて回収ボックスに投入 <調味料のボトル> 水ですすいだ後、ボトルをつぶしてキャップを閉めて回収ボックスに投入
事業主体	株式会社アールプラスジャパン
実証実験への参画企業（12 社）	・カルビー株式会社 ・株式会社高速 ・株式会社コバヤシ ・サントリーホールディングス株式会社 ・シーピー化成株式会社 ・J&T 環境株式会社 ・株式会社セブン&アイ・ホールディングス ・日清オイリオグループ株式会社 ・三井住友信託銀行株式会社 ・株式会社 Mizkan ・リスパック株式会社 ・レンゴー株式会社 （五十音順）

( 1 / 3 )

【実証実験の特長】

食品用容器は、内容物の多様さに加え、調理温度や保管温度、保存期間が異なるといった諸条件から、内容物の品質を保持するためにさまざまなプラスチック材質が使われています。

オールプラスジャパンは、プラスチックの材質に左右されず、かつ効率よく元のプラスチック素材に戻すことができるケミカルリサイクル技術を開発中です。今回の実験では、この技術への適応の可能性を探るべく、これまで回収事例が少ないものも含めて、幅広い食品容器を回収対象といたします。

使用済み食品用容器の回収・保管においては、においや汚れの問題が懸念されますが、2022年11月に千葉県東金市の道の駅で実施した回収実証実験では、お客様への事前のご案内に努めたことにより想定以上にきれいな性状での回収を行うことができました。この実験で得られた知見をもとに、対象容器の種類を増やし、生活者により身近な店頭で回収することにより、実現性を探っていきます。

オールプラスジャパンは、プラスチックの課題解決に貢献したいという思いのもと、原料・容器包装製造、消費財開発・販売、流通から、さらには回収・選別に至る、プラスチックに関わる全てのバリューチェーン上の企業により成り立っています。参画企業それぞれが持つ強みを活かし、店頭回収の実績を積み重ねることで、家庭で発生する使用済みプラスチックを無駄なく回収できるしくみづくりを目指します。



【今後の目標】

オールプラスジャパンは“「すてる」をなくす、「みらい」をつくる。”というパーパスのもと、使用済みプラスチックの効率的な再資源化を実現するケミカルリサイクル技術の確立に加え、さまざまな拠点回収モデルを構築することで、サステナブルな社会づくりに貢献してまいります。

当社はオールプラスジャパンの目指す世の中に賛同し、発足時から参画してまいりました。適切に回収・再資源化されるしくみの構築に主体的に関わり、プラスチック資源循環の実現に貢献していく考えです。

【参考】

- ・「千葉県東金市における使用済みプラスチック回収実証実験」  
[http://rplusjapan.co.jp/news/detail\\_2022\\_11\\_04/](http://rplusjapan.co.jp/news/detail_2022_11_04/)
- ・「株式会社アールプラスジャパン 企業情報」  
<http://rplusjapan.co.jp/company/>

・ケミカルリサイクル

使用済みプラスチックを化学的に分解し、直接プラスチックの原料などに戻すリサイクル方法です。アールプラスジャパンの技術は従来の油化工程を経由するケミカルリサイクルよりも少ない工程で処理でき、CO2 排出量やエネルギー必要量の抑制につながるものと期待しています。

以上